

令和3年度 英語教育充実プラン 南国市立日章 小学校			研究テーマ (英語教育推進方針)	自ら気づき、考え、コミュニケーションのできる子どもを目指して ～児童一人一人の学習状況を的確に捉え、授業改善を図るための適切な学習評価の在り方について～		
年度当初の状況（4～5月調査を記載）			到達目標	年度末の到達目標達成状況（2月調査を記載）		
調査項目（意識調査の項目）		肯定的回答%	1 児童意識調査の肯定的回答の割合の向上 ・①の項目について95%以上を目標値とする。 ・②③の項目について90%以上を目標値とする。 2 教員意識調査の肯定的回答の割合の向上 ・④の項目について90%以上を目標値とする。 ・⑤の項目について85%以上を目標値とする。 ・⑥の項目について90%以上を目標値とする。	肯定的回答%	達成状況	考察
児童	①英語で友だちや先生と会話することが楽しい。	91.4%				
	②英語で自分のことや意見を発表することが楽しい。	79.2%				
	③英語を使って、日本の文化（地域の良さ）を紹介してみたいと思う。	86.6%				
教員	④学習指導要領の趣旨について理解できている。	71.4%				
	⑤学習評価の在り方について理解できている。	71.4%				
	⑥「新教育課程を活かす 能力ベースの授業づくり」等を活用して、授業の工夫・改善を行うことができている。	71.4%				
到達目標達成のための取組			取組計画	指標達成状況		
項目	成果指標	5～2月			達成状況	年度末評価
英語教育の推進体制の整備	◆研究会の充実・実施 一人2回以上の研究授業の実施 ◆児童意識調査 ①の項目 肯定群 90%以上 ◆教員意識調査 ⑥の項目 肯定群 90%以上	<ul style="list-style-type: none"> 学校、児童、地域の実態を把握し、校内研修を計画的に実施する。 校内の推進体制を見直し、研究組織の活性化させる。メンター会を活用し、若年教員を中心に学習指導要領の趣旨理解についての充実を図る。 定期的なブロック教科会を通して、単元計画の見直しや学習活動の工夫・改善を図り、日々の授業改善に活かす。 研究授業検討会、模擬授業、研究授業、研究協議を通して、研修の充実を図る。 授業づくり部を中心に全校研や校内研修を推進し、授業改善を進める。また、参観者による授業チェックシートを活用し、授業力向上を目指す。 校区内の大湊小学校・香南中学校と日々の授業実践の情報共有を行う等、密接に連携を図ることにより、小小連携・小中連携による英語教育の向上を図る。教員意識調査「小小連携・小中連携ができています」肯定群 90% 				
英語教育の充実 (コミュニケーション能力の向上)	◆単元計画表の作成 ◆児童意識調査 ②③の項目 肯定群 90%以上	<ul style="list-style-type: none"> 授業づくり部を中心に単元構成を工夫し、授業の充実を図る。 カリキュラムマネジメントを重視した教科横断的な年間指導計画と単元計画表を作成する。 児童が「伝えたい」と思えるような単元ゴールの目的・場面の設定を見直し、教科横断的な視点で単元を構築する。 				
英語教育の指導方法及び学習評価の工夫改善	◆評価計画の作成 ◆教員意識調査 ④の項目 肯定群 90%以上 ⑤の項目 肯定群 85%以上	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごとに学習到達目標と観点別評価規準を明確にし、評価計画を作成する。 児童一人一人の学習状況の見取りと児童の意欲を高める学習評価の在り方についての演習型研修を実施する。 講師招聘のもと、英語教育の指導方法及び学習評価についての研修会を実施する。 				